

令和5年度 第4四半期

事業目標と結果 (事業所名：共同生活援助事業所ホームピンネ)

(令和5年度 運営ビジョン・運営方針)

運営 ビジョン	あなたが、私が「自宅以上」に暮らしたい空間をデザインします	令和5年度の 具体的な方針	「アセスメントはなぜ必要なのか」「個別支援計画はなぜあるのか」「根拠のある支援とは何か」を研修だけでなく「実際の体験」を通して学ぶ 面会以外の場面における家族さんのグループホームへ関わる機会を増やす
------------	-------------------------------	------------------	--

(全体総括)

第4四半期では「数字や記録を基にした会議」と「内部研修の強化」に重点を置いて取り組身を実施した。会議において食事や水分、睡眠状況など日々の記録から推移を見ながら予測を立てたりなど新しい会議の形が定着してきている。

次期ではデータを視覚化しさらに分かりやすくできるように現在の紙媒体での記録の方法から電子記録システムへの変更の検討を行う。

項 目	仲間の視点	お客様の視点	ビジネスの視点
運営方針	学ぶ機会や知る機会が増え 「学ぶことって楽しい」と 感じるが増える	グループホームに足を運ぶ人 や機会が自然と増える	今期売上予算・利益予算 の達成
KPI 重要業績 評価指標	職員満足度前年比+20%	顧客満足度前年比+20%	年間事業収入 184,750,000円 15,395,833円／月平均
達成方法 KPI達成に 向けた プロセス	①外部・内部研修（事例検討 会など） ②自立支援の学習会／月1回 ③外部コンサルの導入	①家族学習会 ②家族共同によるイベントの 開催	①健康管理の充実 ②通院体制の見直しと充実
結果	職員満足度前年比+11%	顧客満足度前年比+8%	1月 14,778,780円 2月 14,132,380円 3月 15,484,540円
次期へ向けて	新しい内部講師の発掘 (5月・6月)	コンサルタントの導入の検討 地域ボランティアとの連携に よるイベントの検討	新規利用者の獲得 長期入院に繋がらないよう 日頃からのケアの充実

【運営報告】

事業所名： ホームピンネ

項 目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		1,800	1,860	1,800	1,860	1,860	1,800	1,860	1,800	1,860	1,860	1,680	1,860	21,900
延利用人数	R4	1,706	1,721	1,714	1,792	1,652	1,675	1,769	1,681	1,739	1,594	1,561	1,741	20,345
	R5	1,690	1,631	1,672	1,726	1,654	1,647	1,645	1,654	1,678	1,647	1,560	1,610	19,814
稼働率	R4	94.8%	92.5%	95.2%	96.3%	88.8%	93.1%	95.1%	93.4%	93.5%	85.7%	92.9%	93.6%	92.9%
	R5	93.9%	87.7%	92.9%	92.8%	88.9%	91.5%	88.4%	91.9%	90.2%	88.5%	92.9%	86.6%	90.5%
事業活動収入計	R4	14,917	15,295	15,196	15,202	15,321	15,377	15,730	15,111	16,018	15,206	14,577	15,624	183,573
	R5	15,338	14,981	15,252	17,655	15,746	15,182	15,080	14,777	15,052	14,779	14,132	15,485	183,459
当期資金収支差額		2,065	1,408	2,144	3,565	2,731	2,639	350	1,715	2,433	2,692	2,022	10,486	34,251
職員数	40時間	16	16	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	-
	パート	17	17	17	19	18	19	19	18	17	16	15	15	-

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
ピンネリーダー会議	1/10	古島施設長、小林(孝)、澤田、小林(洸)	予定の共有・周知、採算改善、職員の状況把握、利用者様、食事について
各棟会議(みらい)	1/16	本田看護師、小林(孝)、辻、矢部、宮腰、吉田、福士	予定の共有・周知、採算改善、職員の状況把握、棟内の利用者様の様子確認。
各棟会議(ぼえむ)	10/18	小林、奥平、高桑、清野、佐々木、池田、佐藤、前谷津	予定の共有・周知、採算改善、職員の状況把握、感染症対策について、棟内の利用者様の様子確認。
各棟会議(らいむ)	10/24	澤田、山下、吉田、内藤、押野、松下	予定の共有・周知、採算改善、職員の状況把握、感染症対策について、棟内の利用者様の様子確認。
ピンネリーダー会議	2/9	古島施設長、小林(孝)、澤田、小林(洸)	予定の共有・周知、採算改善、職員の状況把握、利用者様、食事について
各棟会議(みらい)	2/20	本田看護師、小林(孝)、辻、安部、宮腰、福士	予定の共有・周知、採算改善、職員の状況把握、利用者様の様子確認。
各棟会議(ぼえむ)	11/15	小林、高桑、池田、佐藤、前谷津	予定の共有・周知、採算改善、職員の状況把握、感染症対策について、棟内の利用者様の様子確認。
各棟会議(らいむ)	11/16	本田NS、澤田、山下、野尻、吉田、青山、内藤、押野、松下	予定の共有・周知、採算改善、職員の状況把握、感染症対策について、棟内の利用者様の様子確認。
ピンネリーダー会議	3/8	古島施設長、小林(孝)、澤田、小林(洸)	予定の共有・周知、採算改善、職員の状況把握、利用者様、食事について
各棟会議(みらい)	3/18	古島施設長、小林(孝)、宮腰、風間、福士	予定の共有・周知、採算改善、職員の状況把握、利用者様の様子確認。
各棟会議(ぼえむ)	12/20	小林、高桑、清野、佐々木、池田	予定の共有・周知、採算改善、職員の状況把握、感染症対策について、棟内の利用者様の様子確認。
各棟会議(らいむ)	12/21	古島施設長、本田NS、澤田、山下、野尻、吉田、青山、内藤、押野、松下	予定の共有・周知、採算改善、職員の状況把握、感染症対策について、棟内の利用者様の様子確認。

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
1月感染症委員会	1/9	古島、小林(孝) 福士、野尻、吉田	感染症予防について (手洗い、うがい、手指消毒、加湿状況など) インフルエンザ・コロナウイルス感染状況について
1月苦情虐待事故委員会	1/11	古島、小林(洸) 澤田、安部、福士 吉田	虐待内部研修開催について
2月感染症委員会	2/13	古島、小林(孝) 小林(洸)、澤田 風間、福士	感染症予防について (手洗い、うがい、手指消毒、加湿状況など) インフルエンザ・コロナウイルス感染状況について
2月苦情虐待事故委員会	2/14	小林(孝)、小林 (洸) 野尻、安部、福士 葛西	権利擁護内部研修の周知 利用者間の苦情とその対策 転倒、服薬忘れについて
3月感染症委員会	3/12	古島、安部、宮腰 福士、清野	感染症予防について (手洗い、うがい、手指消毒、加湿状況など) インフルエンザ・コロナウイルス感染状況について
3月苦情虐待事故委員会	3/13	古島、小林(洸) 山下、安部、福士	服薬事故、職員の利用者様に対する関りについて見直し 利用者様間の苦情 外部からの連絡連携ミス、苦情に繋がりうる事案

令和5年度 第4四半期

事業目標と結果 (事業所名：共同生活援助事業所あおば)

(令和5年度 運営ビジョン・運営方針)

運営 ビジョン	社会福祉法人明和会は 福祉を通して明るく豊かな 地域社会をつくりまします。	令和5年度の 具体的な方針	・支援員のスキルアップ（障がいの理解） ・業務内容の一元化（支援から食事を含めた利用者様の生活全般） ・法人動向の理解と愛情（何のために支援（仕事）をするのか） ・新規グループホームの新設準備（利用者様の住みよい住居環境）
------------	---	------------------	--

(全体総括)

今年度の大きな変化としては、互いにリスペクトして取り組む事での業務負担緩和と、役割分担を明確にする事で業務遂行率が上がった。また、タイムマネジメント意識が高まり、月ごとの普段業務と特別業務（個別支援や担当居室大掃除など）を予定通り実施する事が出来ている。その事で、5S意識は高まった。その他、地域住民との関係性も良好となり、住民からの労の言葉などが増えてきた。次年度においては、個々のスタッフの特徴を活かした形で役割分担を行い、利用者の生活の安定・スタッフの仕事の楽しさを積み重ねていく事とする。

項 目	仲間の視点	お客様の視点	ビジネスの視点
運営方針	障がい支援（明和会で働く喜び）に携わる楽しさを感じれるようになる。 ※個々のスキルアップを図る。	【やりたい・やってみたい】を把握する。	新規事業拡大を押しすすめる為、空床を無くす。
KPI 重要業績 評価指標	満足度100% ※毎月の面談時に個々の満足度（自己解釈にて）を確認していく。	実施率100% 満足度100%	稼働率維持 （満床状態） ※帰省者以外での稼働率は100%
達成方法 KPI達成に向けた プロセス	想いの把握（個々の目指す方向性の確認） アドバイス・アクション（後押し・研修の参加） 全員がお互いの目標を確認し、全員で応援者する	アセスメントの実施 アセスメントに基づく計画の作成 計画に沿ってアクションを起こす	生活の安定 （QOLの向上） 健康管理 個別支援の確立
結果	他者をリスペクトする事で、互いに尊重し合いトラブルなく業務が遂行出来ている。その事で、残業0、有休取得も平均14日となった。	冬季の季節感を出す事で、外出の頻度が増えた。	3月に感染症（コロナ）1名罹患される。予防対策にて拡大することなく終息した。空床1に対し、入居希望者3名あり。
次期へ向けて	各職員ごとの成長スケジュールを作成し、共に成長を促していく事とする。	個別・集団レク共に良さを出し、利用者の楽しみ・生きがいに繋げていく。	入居希望者に調整を行い、体験からスタートする。

【運営報告】

事業所名： あおば

項 目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		750	775	750	775	775	750	775	750	775	775	725	775	9,150
延利用人数	R4	686	691	688	739	724	713	739	741	767	763	694	770	8,715
	R5	744	755	749	766	755	733	738	714	726	731	691	740	8,842
稼働率	R4	91.5%	89.2%	91.7%	95.4%	93.4%	95.1%	95.4%	98.8%	99.0%	98.5%	95.7%	99.4%	95.2%
	R5	99.2%	97.4%	99.9%	98.8%	97.4%	97.7%	95.2%	95.2%	93.7%	94.3%	95.3%	95.5%	96.6%
事業活動収入計	R4	5,025	4,647	4,866	4,843	5,000	4,977	5,072	5,072	5,447	5,786	4,843	5,266	60,843
	R5	5,210	4,915	4,934	5,116	5,380	4,965	5,029	4,900	4,960	4,986	4,819	5,434	60,647
当期資金収支差額		794	-53	479	329	724	416	189	113	-218	-205	-208	2,887	5,249
職員数	40時間	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	-
	パート	6	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	-

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
あおば全体会議	1/25 2/22 3/28	全職員	・すまいる、さつき利用者様に関する情報共有 ・次月予定確認 ・法人動向についての確認
部門会議	1/25 2/22 3/28	全職員	・採算表の確認及び、取組課題と評価についての説明

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染症委員会	1/10 2/14 3/13	施設長・全支援員	・感染防止に関わる各事業所の取組み内容の報告 ・5S美化活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）確認
苦情委員会	1/17 2/21 3/13	施設長・全支援員	・当月苦情案件の報告 ・ヒヤリハット報告 ・事故報告
虐待防止委員会	1/17 2/21 3/13	施設長・全支援員	・虐待案件の確認 ・虐待防止に関わる報告 ・内部研修（虐待防止・権利擁護）の内容確認
事故防止委員会	1/17 2/21 3/13	施設長・全支援員	・事故報告 ・ヒヤリハット報告
余暇支援委員会	1/11 2/8 3/14	施設長・全支援員	・個別、集団を含む、次月行事内容の精査

令和5年度（1月～3月） 行事

事業所名： 共同生活援助事業所 あおば

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
初詣	1/1	10名	すまいる・さつき利用者様
温泉外出	1/13.20.27	13名	すまいる・さつき利用者様
節分会食	2/2	24名	すまいる・さつき利用者様
温泉外出	2/10.17	14名	すまいる・さつき利用者様
雛祭り会食	3/3	24名	すまいる・さつき利用者様
お疲れ様会	3/29	24名	すまいる・さつき利用者様
個別外出	10～12月	24名	個人のニーズに沿った活動

令和5年度 第4四半期

事業目標と結果 (事業所名：ジョブサポートフレーバーカントリー)

(令和5年度 運営ビジョン・運営方針)

運営 ビジョン	「challenge」 ～新たな事に挑戦し続ける 事業所を目指します！～	令和5年度の 具体的な方針	【ソーセージ】 ・就労支援事業収入を増加して、新たに 製造出来るスタッフを獲得する。 【就労B型】 ・塩辛製造を1年間継続して製造出来る ように原料の確保に努める。
------------	--	------------------	---

(全体総括)

・食品加工での収入はソーセージは例年より売り上げに伸び悩んだが、その分水産加工の塩辛の販売が好調だった。但し原料の高騰で今年度は仕入れを断念せざる得ない状況。次年度に向けては弁当製造に力を入れる事、給食事業の食数増をする事で就労支援事業収入の増加を目指していく。

項 目	仲間の視点	お客様の視点	ビジネスの視点
運営方針	わくわくしながら 未来を作る	【ソーセージ】 ・専門店に向けて人員の配置 を整える 【就労B型】 ・食品に興味を抱いている方 を中心にご利用者を募集する	ソーセージと塩辛の販売数を 増やす
KPI 重要業績 評価指標	・新たなメニューの 開発 ・自分の考えを提案 出来る職場環境	【ソーセージ】 ・加工部門のスタッフを1名 以上獲得する 【就労B型】 ・定員数（20名）以上の確保	【ソーセージ】 ソーセージのみのイベント販 売で今年度以上の売り上げを 記録する。 300,000円⇒600,000円 イベント以外のソーセージの売 り上げを今年度の倍を目指 す。 725,000円⇒1,450,000円 【塩辛】 1年間の売り上げ目標 1,800,000円
達成方法 KPI達成に 向けた プロセス	・月1で商品開発会議の開催 ・福利厚生費を使用した慰労 会やコンパの実施	【ソーセージ】 ・商品売り事業収入増を図 る 【就労B型】 ・毎月相談支援事業所、病院 に向けて PR活動の実施 ・障害就業、生活支援セン ターとの連携	【ソーセージ】 ・機材（サイレントカッ ター）の修理を着手する。 【塩辛】 ・稼働し続ける為の原料確保
結果	・2月の商品開発会議で3月に ラーメンフェスティバル開催す る事で決定。 予) 70,000円 実) 40,000円 ・2月に慰労会は実施出来なかつ たが3月に実施している。	・スタッフ1名は獲得済み ・利用登録については3月末に急 遽1名退所となり登録人数は19名 となる。	・ソーセージについては冬期間 は販売していない。 ・塩辛は夏季期間と比較すると 冬期間はお客様が来店するのが 少ない影響から販売数減とな っている。
次年度へ 向けて	・今年度は皆で話し合う場を設 けた事で塩辛の種類を変更した ことに加えて、今まで販売した 事の無い物を販売した事でより バリエーションが増えた。次年 度も今ある商品の成長と共に新 たな開発にも着手していきたい。	・登録人数が定員割れの19名に なっている状況。相談支援事業 所や生活支援センターとの連携 は密に取っているが、見学の申 し込みも激減している。 次年度に向けてはSNSやIT系を導 入していきながら利用者獲得に 向けて対応する。	・全体的に見ると今年度はソー セージの売り上げは半減してい る。暑さの影響も考えられる が、何が原因なのかを検討して いく。 ・塩辛については原料高騰によ り手出し出来なくなっている。 他の原料で販売出来ないか商品 開発の1年とする。

【運営報告】

事業所名： フレーバーカントリー

項 目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		528	552	528	552	552	528	552	528	552	552	480	552	6,456
延利用人数	R4	396	393	403	417	394	392	402	407	428	375	360	416	4,783
	R5	407	394	397	417	401	364	374	393	393	389	346	382	4,657
稼働率	R4	75.0%	71.2%	76.3%	75.5%	71.4%	74.2%	72.8%	77.1%	77.5%	67.9%	75.0%	75.4%	74.1%
	R5	77.1%	71.4%	75.2%	75.5%	72.6%	68.9%	67.8%	74.4%	71.2%	70.5%	72.1%	69.2%	72.2%
事業活動収入計	R4	4,862	5,107	4,988	5,107	5,093	4,677	4,883	4,776	5,203	4,821	4,205	4,908	58,630
	R5	4,630	4,617	4,524	5,279	5,179	4,633	4,737	4,602	4,882	4,630	4,332	4,914	56,958
当期資金収支差額		-234	-887	-501	-1,238	194	-94	-42	-331	-223	-239	-1,095	3,123	-1,566
職員数	40時間	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	-
	パート	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	-

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
全体会議	1/31 2/22 3/21	木村、南部、千葉 山田、佐山	・利用者について ・行事について ・イベントについて
給食会議	1/31 2/22 3/21	古島、岡本、本田 小林（洸）、木 村、山田	・前回会議からの検討事項 ・献立、検食簿の確認 ・その他案件
部門会議	1/31 2/22 3/21	木村、南部、千葉 山田、佐山	・採算表からみる課題について ・翌月のアクションプラン

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染症委員会	1/31 2/22 3/21	木村、南部、千葉 山田、佐山	・感染症（コロナ、インフル）について ・食中毒について
苦情解決・虐待防止委員会	1/31 2/22 3/21	木村、南部、千葉 山田、佐山	・苦情、虐待案件について ・言葉遣いについて ・虐待報道について
事故再発防止委員会	1/31 2/22 3/21	木村、南部、千葉 山田、佐山	・今月の事故、ヒヤリハットについて

令和5年度（1月～3月） 研修

事業所名：ジョブサポートフレイバーカントリー-

研修

[illegible]

令和5年度（1月～3月） 行事

事業所名： ジョブサポートフレーバーカントリー

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
調理実習	1/6	11名	利用者6名 職員5名

令和5年度 第4四半期

事業目標と結果 (事業所名：ジョブサポートシナジー)

(令和5年度 運営ビジョン・運営方針)

運営 ビジョン	就労支援事業で10億円の 事業収入を得るための 仕組みをつくる。	令和5年度の 具体的な方針	拠点チームのモデルを構築します。
------------	--	------------------	------------------

(全体総括)

令和5年度 第4四半期では登録者11名、従業員7名がグリーンパークしんとつかわ内でホテルからの業務委託を中心に事業を進めている。1月からホテル宿泊が少なくなる傾向が昨年があったが、今年度においてはそれほど少なくなることもなく稼働している状態である。次年度4月には新たに1名の利用者也新規利用開始となる。次年度においても利用者増を進めていきたいと考えている。

項 目	仲間の視点	お客様の視点	ビジネスの視点
運営方針	ジョブサポートシナジーとしての就労支援チームを形成します。	「働きたい」という願いを実現していただけるサービスを提供します。	企業×A型事業の成功モデルを構築します。
KPI 重要業績 評価指標	メンバーの作業習得への支援達成度100%	2023年度中にシナジーで「働く」メンバーを20名にします。	2023年度中にシナジーの予算達成させ2024年度に繋げる。 ・延べ利用2,713人以上/年 ・一般就労者2名輩出 ・平均労働時間4h以上
達成方法 KPI達成に向けた プロセス	1. 就労支援ミーティング 1回/月 2. 部門ミーティングを通しての採算表の理解 3. 障がい特性の勉強会 4. コーチングの勉強会	・新規顧客の獲得と成長 1. 営業活動の強化 2. 業務内容の拡充 3. メンバーのスキルアップ	・グリーンパークとの連携を強化する。 1. 利用者数の増加（獲得） 2. 稼働率の向上 3. 共に新しいものを創る
結果	・1, 2に関しては実施済している。 ・3, 4については未実施	・3月末登録者11名	・見学者を随時受け入れている。 ・冬季の宿泊多く稼働状況は良い。
次年度へ 向けて	・サービス管理責任者を中心とした就労支援チームの構築を図り「シナジー」をつくる。	・定員20名に対し登録者20名を目指し営業の強化を図る。	・グリーンパークのみではなく、法人全体での障害者雇用の推進を図り、一般の企業では難しい合理的配慮を法人全体として行うことができるよう仕組みをつくる。

【運営報告】

事業所名： シナジー

項 目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		528	552	528	552	552	528	552	528	552	552	480	552	6,456
延利用人数	R4		10	29	49	47	42	50	44	49	55	53	57	485
	R5	88	100	92	90	92	116	129	100	92	117	120	109	1,245
稼働率	R4		1.8%	5.5%	8.9%	8.5%	8.0%	9.1%	8.3%	8.9%	10.0%	11.0%	10.3%	8.2%
	R5	16.7%	18.1%	17.4%	16.3%	16.7%	22.0%	23.4%	18.9%	16.7%	21.2%	25.0%	19.7%	19.3%
事業活動収入計	R4		856	983	1,098	1,084	1,027	1,123	1,064	1,097	1,288	1,118	1,140	11,878
	R5	1,491	1,579	1,516	1,508	1,624	1,718	1,844	1,607	1,538	1,743	1,780	1,735	19,683
当期資金収支差額		-953	-908	-1,070	-1,230	-1,016	-1,115	-1,161	-1,187	-1,178	-943	-927	981	-10,706
職員数	40時間	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	-
	パート	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
部門会議	1/15	土佐 丸田 高瀬 田中	2月採算表作成 採算改善アクションプラン
部門会議	2/16	土佐 丸田 高瀬 田中	3月採算表作成 採算改善アクションプラン
部門会議	3/15	土佐 丸田 高瀬 田中	4月採算表作成 採算改善アクションプラン
経営会議	1/30	土佐	2月予定採算
経営会議	2/28	土佐	3月予定採算
経営会議	3/29	土佐	4月予定採算

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題

令和5年度（1月～3月） 研修

事業所名：ジョブサポートシナジー

研修

[illegible]

令和5年度 第4四半期

事業目標と結果 (事業所名：地域連携室)

(令和5年度 運営ビジョン・運営方針)

運営 ビジョン	誰もがつながり続けられる相談窓口	令和5年度の 具体的な方針	・職員交流の機会を設ける等、事業所内の連携を密にするとともに、互いに高め合える存在になる。 ・総合相談窓口虹の認知度を上げるため、にじ通信を発行する。 ・分野を横断した相談支援を実現する為、各種制度、公的サービス、インフォーマルサービス、対人援助技術などに関する内部研修を実施する。 ・つながり続けるきっかけ作りの為、定期訪問の継続、居場所づくりを行う。
------------	------------------	------------------	--

(全体総括)

【相談支援】 現在、パート職員1名 常勤2名 計3名体制であるが3月末で常勤1名退職業務に支障が生じないよう、適宜引き継ぎなどを行っている。 【居宅介護】 12月まではケアマネ 常勤2名体制 12月中旬からケアマネ1名が体調不良の為、休職し、1名体制となる。それに伴い、新規受け入れを中止。3月より陽だまりの郷よりケアマネ1名異動あり、2名体制に戻った為、新規受け入れ再開する。
--

項 目	仲間の視点	お客様の視点	ビジネスの視点
運営方針	互いの違いを認め、互いを尊重し合い、高め合える組織	つながり続けるきっかけ作りの為、定期訪問の継続、居場所づくりを行う。	認知度を上げ、虹につながるケースが増えることで、令和4年度実績を超えることができる。
KPI 重要業績 評価指標	法人共通の 職員満足度調査 満足度80% (R5年度：働きやすさ)	①サービスにつながる前 (委託相談など)の 対応強化 訪問、面談20件/年以上 ②居場所づくり活動 10回/年	相談支援 請求件数 500件/年 以上 居宅介護支援 請求件数 760件/年 以上
達成方法 KPI達成に 向けた プロセス	・アンケートの実施 ・定期的な職員面談 ・職員交流会の実施	①定期訪問、面談の継続 ②頻度：月1回程度 町内の会議室などを借りる 相手が好む活動を提供する	・依頼を断らない ・関係機関への挨拶周り ・にじ通信を年4回発行
結果	職員満足度に関するアンケート調査は実施できなかったが、職員面談の場を設けることが出来た。	ケアマネジメント以外のケースとの面談等は継続できたが、活動を共にする機会を設けることはできなかった。	相談支援は4件、居宅介護支援は4件が新規契約につながった。
次期へ向けて	各事業に新たな施設長が配置された。各施設長の方針に合わせていく。	各事業に新たな施設長が配置された。各施設長の方針に合わせていく。	各事業に新たな施設長が配置された。各施設長の方針に合わせていく。

【運営報告】

事業所名： 総合相談窓口 虹

項 目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数（相談）		70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	840
MP値（相談）		48	27	29	38	40	41	28	22	38	43	26	36	416
基準人数（居宅）		70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	840
請求人数（相談）	R4	47	26	47	36	44	43	26	26	29	41	38	36	439
	R5	50	32	43	45	42	46	32	28	52	50	34	31	485
延利用人数（居宅）	R4	62	62	60	61	60	59	60	59	57	55	54	55	704
	R5	53	56	58	61	51	56	51	52	49	46	45	47	625
稼働率（相談）	R4	67.1%	37.1%	67.1%	51.4%	62.9%	61.4%	37.1%	37.1%	41.4%	58.6%	54.3%	51.4%	52.3%
	R5	71.4%	45.7%	61.4%	64.3%	60.0%	65.7%	45.7%	40.0%	74.3%	71.4%	48.6%	44.3%	57.7%
稼働率（居宅）	R4	88.6%	88.6%	85.7%	87.1%	85.7%	84.3%	85.7%	84.3%	81.4%	78.6%	77.1%	78.6%	83.8%
	R5	75.7%	80.0%	82.9%	87.1%	72.9%	80.0%	72.9%	74.3%	70.0%	65.7%	64.3%	67.1%	74.4%
事業活動収入計（相談）	R4	1,722	1,113	1,481	1,287	1,491	1,399	1,097	1,097	1,155	1,497	1,336	1,288	15,964
	R5	1,577	1,250	1,538	1,429	1,485	1,414	1,204	1,152	1,534	1,532	1,218	1,194	16,527
当期活動増減額（相談）		361	-48	361	121	372	366	215	200	515	519	158	2,766	5,907
事業活動収入計（居宅）	R4	833	832	806	832	815	805	815	807	781	837	719	748	9,629
	R5	721	765	780	820	731	746	667	684	645	604	586	610	8,358
当期活動増減額（居宅）		-115	-154	-47	-120	-114	-80	-193	-146	-241		-15	1,292	65
職員数	40時間	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	-
	パート	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	-

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
事業所定例会議	1/9	古島、矢部	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリング進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告
事業所定例会議	1/16	古島、矢部	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリング進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告
事業所定例会議	1/22	古島、後藤	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリング進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告
事業所定例会議 （虹全体会議）	1/31	古島、後藤、矢部	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリング進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、苦情解決・虐待について（最終週）
事業所定例会議	2/6	後藤、矢部	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリング進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告
事業所定例会議	2/20	古島、後藤	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリング進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告
事業所定例会議 （虹全体会議）	2/27	古島、矢部	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリング進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、苦情解決・虐待について（最終週）
事業所定例会議	3/19	後藤、矢部	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリング進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告
事業所定例会議 （虹全体会議）	3/29	古島、後藤、矢部	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリング進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、苦情解決・虐待について（最終週）

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題

令和5年度（1月～3月） 研修

事業所名：相談支援事業所 虹

研修

[illegible]

令和5年度（1月～3月） 研修

事業所名：居宅介護支援事業所 虹

研修

[illegible]